

別表
第一号書式

第一片

歳入金	領収証書									
(住所)	一般会計			(年度)			(番号)			(備考)
	科目	年度	納期	金額						
(氏名)				百	十	万	千	百	十	円
殿	内証券受領									
	合計額									
										証券番号
										振出人

右のとおり領収しました。

年 月 日

〔収入官吏、収入官吏代理、分任収入官吏
又は分任収入官吏代理官職氏名印〕 又は 〔領収者名の表示のある
領収日付印〕

第二片

歳入金	原符									
(住所)	一般会計			(年度)			(番号)			(備考)
	科目	年度	納期	金額						
(氏名)				百	十	万	千	百	十	円
殿	内証券受領									
	合計額									
										証券番号
										振出人

年 月 日

〔収入官吏、収入官吏代理、分任収入官吏
又は分任収入官吏代理官職氏名〕 又は 〔領収者名の表示のある
領収日付印〕

第三片

歳入金	領収済報告書									
(住所)	一般会計			(年度)			(番号)			(備考)
	科目	年度	納期	金額						
(氏名)				百	十	万	千	百	十	円
殿	内証券受領									
	合計額									
										証券番号
										振出人

あて先

〔歳入徴収官、歳入徴収官代理、分任歳入
徴収官又は分任歳入徴収官代理官職氏名〕

年 月 日

〔収入官吏、収入官吏代理、分任収入官吏
又は分任収入官吏代理官職氏名印〕 又は 〔領収者名の表示のある
領収日付印〕

備考

- 1 用紙寸法は、各片ともおおむね縦11cm、横21cmとする。
- 2 各片は左端をのり付けその他の方法により接続するものとする。
- 3 各片に共通する事項（あらかじめ印刷する事項を除く。）は、複写により記入するものとする。
- 4 金銭登録機を用いて現金の出納を行う収入官吏又は分任収入官吏（収入官吏代理又は分任収入官吏代理を含む。）で財務大臣の指定するもの（以下「指定収入官吏等」という。）にあつては、領収証書である旨を表示する文字、納入者ごとの整理番号、領収年月日、領収金額又は歳入科目の表示に代わるべきものとして、財務大臣が定める符号を記載し、かつ、指定収入官吏等の在勤庁の標示のある領収印を押した書面をもって領収証書に代えることができる。この場合においては、領収年月日、当該符号ごとの領収金額の日計額を記載し、かつ、指定収入官吏等の印を押した書面及び納入者ごとの領収金額を表示した内訳書類をもって領収済報告書に代えることができる。